

# 記載例

## 婚姻届

平成 21 年 10 月 10 日 届出

(あて先)

福岡市南区 長

現在の氏(旧姓)で記入してください  
※一番下の署名欄も現在の氏(旧姓)で記入してください

届出中
字加入
字削除
福岡
南

(8) 夫妻の職業は、国勢調査の年のみ記入してください

午前 午後 時 分 例

\* 氏名の文字・本籍は戸籍のとおり記入してください。

(氏名の文字の字体を旧字や俗字から通用字体に変更したい場合は、窓口でご相談ください)

\* 間違えて記入した場合は、横線で消して訂正してください。

(修正液は使わないでください)

平成 21 年 10 月 10 日 届出

登録済み 戸籍記載 記載済み 署名用紙 住民票 通知

(あて先)

福岡市南区 長

夫になる人		妻になる人							
(よみかた) 氏名	ふくおか 太郎	みなみ 花子							
生年月日	昭和 53 年 10 月 7 日	昭和 56 年 11 月 26 日							
住所 (住民登録をしていいるところ)	福岡市南区塩原3丁目	福岡県〇〇市◆◆2丁目							
転入・転居届を婚姻届と同時にされる場合は、新しい住所を書いてください。	25番地 1号	31番地 5-102号							
世帯主の氏名	福岡 太郎	世帯主の氏名	南 正治						
本籍	〇〇県〇〇郡〇〇町	福岡県〇〇市◆◆5丁目							
(外国人のときは) 国籍だけを書いてください。	◆◆2丁目50番地	10番地 1							
筆頭者の氏名	福岡 和夫	筆頭者の氏名	南 正治						
父母の氏名 父母との続柄 (妻父母はその他の欄に書いてください。)	父 福岡 和夫 母 秋子	父 南 正治 母 大橋 春子	長女						
婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	夫の氏 妻の氏	新本籍(左の□の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください)							
同居を始めたとき	昭和 17 年 4 月	(結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください。)							
初婚・再婚の別	夫 初婚 (□死別 昭和 年月日) 再婚 (□離別 年月日)	妻 初婚 (□死別 昭和 年月日) 再婚 (□離別 12 年 6 月 3 日)							
同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	<table border="1"> <tr><td>1. 農業だけまたは農業とその他の仕事をしている世帯</td></tr> <tr><td>2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯</td></tr> <tr><td>3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先または1年未満の契約の雇用者は5)</td></tr> <tr><td>4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯</td></tr> <tr><td>5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯</td></tr> <tr><td>6. 仕事をしている者のいない世帯</td></tr> </table>			1. 農業だけまたは農業とその他の仕事をしている世帯	2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先または1年未満の契約の雇用者は5)	4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯	5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯	6. 仕事をしている者のいない世帯
1. 農業だけまたは農業とその他の仕事をしている世帯									
2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯									
3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先または1年未満の契約の雇用者は5)									
4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯									
5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯									
6. 仕事をしている者のいない世帯									
(8) 夫妻の職業	夫の職業	妻の職業	福岡市南区●●3丁目2番 長崎県～～番地						

その他 妻になる人の養母「南 冬美」 続柄「養女」

届出人

夫

妻

福岡

南

署名押印

平日の昼間(役場の執務時間中)に連絡の取れる電話番号を記入してください

連絡先 電話(090) 1234 - 5678  
(夫) 自宅 (携帯) 勤務先・その他( )

\* 証人は成人2人です  
※必ず全ての欄を記入し、証人本人が署名押印してください

署名押印	大橋 三郎	大橋 夏子
生年月日	明治 昭和 6 年 6 月 6 日	明治 昭和 10 年 10 月 10 日
住所	福岡市博多区博多駅前2丁目	福岡市博多区博多駅前2丁目
本籍	福岡市西区内浜1丁目	福岡市西区内浜1丁目

婚姻届と同時に転入・転居届をされる場合は新住所を記入して下さい

実父母の現在の氏名を記入してください

【例】 父母婚姻中

父 福岡 和夫  
母 秋子

父母が離婚している場合

父 南 正治  
母 大橋 春子

父 南 正治  
母 南 春子

※母は、名前のみ記入してください

※死別した場合も記入してください

\* 夫婦になる人のどちらかが養子・養女になっている場合は、「その他」欄に養父母の氏名を記入してください

【例】 妻になる人の養母「南 冬美」 続柄「養女」

(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍

「夫の氏」と「妻の氏」どちらの氏を称するか選んでください

※国際結婚の場合はチェックしないでください

※選んだ氏の人が筆頭者でない(親の戸籍に入っている等)場合

→ 夫婦で新しい戸籍が作られます

現存する町名地番で希望する新本籍を記入してください

【1】 街区符号を希望する場合

(例) 住所: 福岡市南区●●3丁目2番 24-204号

⇒ 福岡市南区●●3丁目2番

「24-204号」は建物と部屋の番号なので本籍に含みません

【2】 土地の地番号(不動産登記の土地の表示)を希望する場合

⇒ 福岡市南区●●3丁目100番

※選んだ氏の人がすでに筆頭者である(再婚等)場合

→ 新しい戸籍は作られません

選んだ氏の人の戸籍に相手の方が入籍します

※新本籍は記入しないでください